

五感コミュニケーション研究会 第8回

「五感社会づくりに向けて」

～五感的価値再生への視程～

山下柚実氏

(五感生活研究所代表)

2008年2月29日

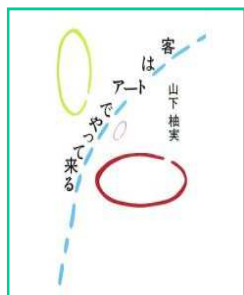
・・・ハイライト版・・・

講師プロフィール

五感生活研究所代表。1962年生まれ。早稲田大学卒。1995年「ショーン 横たわるエイズ・アクティビスト」で第1回小学館ノンフィクション大賞優秀賞受賞。身体と社会の関わりに関心を持ち、主な著書に「五感喪失」(文藝春秋)、「五感の故郷をさぐる」(東京書籍)、「五感生活術」(文春新書)、「五感力を育てる」(中公新書)、「五感で楽しむ東京散歩」(岩波親書)、「子どもを育てる五感スクール」(東洋館出版社)、「給食味はなぜ懐かしいのか?」(中公新書)、「脳がいきき五感力の磨き方」(健学社)、「五感力を育てるワークブック」(東山書房)、「客はアートでやって来る」(東洋経済新報社)などがある。



主な著書



「客はアートでやって来る」
(東洋経済新報社)



「五感喪失」
(文藝春秋)



「五感力を育てるワークブック」
(東山書房)



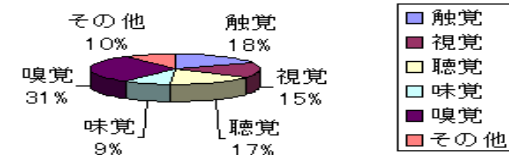
「給食の味はなぜ懐かしいのか?」
(文藝春秋)

1. 五感とは

五感の使い方

- 五感 - 触覚・嗅覚・味覚・聴覚・視覚とは、「外界と自分とをつなぐ」通路。
- 五感をいきいきと働かせ、外の世界と接続することは、外部の情報を上手に取り込み、フィードバックさせることで、環境に適応した生活経験を生み出す。
- 現代社会では、情報収集の約80%を視覚に依存している、と指摘されている。
- その一方で、強い感覚刺激を求める社会である。生活の中で五感を複雑に使って細やかに感じるという機会は、極端に少なくなっている。

もっとも関心ある五感は？(回答数339)



2. 五感喪失社会

触覚とは

成人の皮膚は約1.6平方メートル、
長さ2メートル幅で80センチ、重さは約3キロ

<皮膚の5つの役割>

1. 外部からの刺激や熱、化学的な傷害からからだを 保護する
2. 外部からの状況を探る感覚器官としての役割
触覚(質感等の認知)・温・冷覚、痛覚、圧覚
3. 体温の調節とその保持
4. 外界から酸素を取り入れる呼吸作用
5. 体内に生じた老廃物の放出
6. コミュニケーションの道具

タッチケアの現場

タッチケアにやってきた動機

- ・ 「子どもとのコミュニケーションの仕方がわからなかった」
- ・ 「話のできない赤ちゃんとわかりあえる気がしたから」
- ・ 「うまく触らないと壊れてしまいそう」

(『<五感>再生へ』岩波書店より)

子どもにうまく触れないとまどい



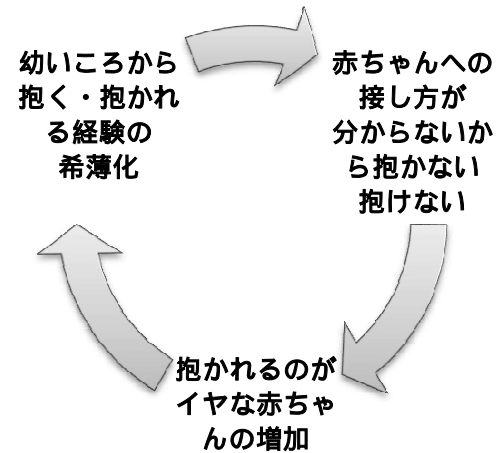
「だっこイヤイヤ赤ちゃんに異変」

臨床育児・保育研究会が、全国のゼロ歳児クラスを受け持つ保育士・看護師839人の実情をアンケート調査(1999)

- 「手や足を先生の体に回さない」 33%
- 「拒否・抵抗する」「体を動かし落ち着かない」20%前後
- 「体が硬い」、「抱いてもフィットしない」20%前後

「今の母親は、家族のスキンシップをあまり受けずに育った世代。赤ちゃんとの皮膚を介した接し方がわからず、とまどっている」

「親が抱かない 抱かれるのがイヤな赤ちゃんの増加」



身体改造をする若者たち

- ・ 「傷口の変化には感動する。うわっ、身体ってすごいんだ」
- ・ 「ピアスを入れるたびに、自分の身体がいとおしくなる」
- ・ 「自分の身体を見て、人がわっとひく瞬間が楽しい。他人と自分は違うんだってことを、はっきりと形で見せられる」
- ・ 「思想や言葉は記号にすぎない。一時的に感動しても、すぐに流れていってしまう。しかし、身体で体感した経験というのは、もっともっと強い」

(『<五感>再生へ』岩波書店)



五感の喪失の一因

「安全」、「効率」、「衛生」といった近代的な価値を徹底的に追求してきた社会。

e x . 危ないからジャングルジムに登ってはいけない。
トイレの匂いを芳香でマスキング。
ラッピングして「衛生的」に流通する野菜……

結果として、五感をいきいきと働かせて暮らす、
生活の経験や知恵が希薄化。 = 「五感喪失」社会。

そこに二つの方向性が見えてきている。

過剰な刺激への志向性。感覚刺激文化。
感覚センサーをうまく活用できないとまどいや欠乏感。

「五感喪失」から「五感再生」へ

- ・ **産業界の模索**
感性産業、五感を刺激する商品群、五感ブランディング
- ・ **教育、学習の試み**
「総合的な学習の時間」の活用、五感体験型食育 他
- ・ **自治体、公共機関による取り組み**
浜松市のかおり・光環境創造条例、守山市「五感にやさしい環境づくり」、静岡市の科学館「る・く・る」、島根県「五感モニター調査」他
- ・ **まちづくりの取り組み**
奈良「五感によるまちづくり」、宮城「感覚ミュージアム」
松江子ども塾他
- ・ **NPOの取り組み**
ネーチャーゲーム、ダイアログ・イン・ザ・ダーク他

3. 感性産業の時代

アロマサロン



匂いが出る携帯ストラップ



顔面消臭スプレー



映画から匂いが漂ってきた



香り発生装置

香道



能と香り

嗅覚教室



高校の授業

「日本の音風景百選」成蹊大学ケヤキ並木



「回想療法」

癒しロボット「パロ」



京都市立弥栄中学校
「触る地図」



昔使っていた物を触るとアルツハイマーに効果あり



静岡科学館「る・く・る」



「見る」「聞く」「触れる」

「三鷹天命反転住宅」



4. 国の取り組み

「五感」や「感性」をテーマに審議会や研究会

経済産業省

「感性価値イニシアティブ経済産業大臣懇談会『感性 21』」

総務省

映像、触覚、匂いなどの五感情報を伝達する「超臨場感コミュニケーション」研究

農林水産省

『食育シンポジウム “五感を通じて学ぼう！” - みんなで体験・教育ファーム』

環境省「感覚環境のまちづくり」

- 環境省では2006年、「感覚環境の街作り」検討委員会が設置され、15回に渡る検討会が開催され、継続的に審議されている中。

「熱、光、かおり、音といった感覚環境の新しい視点から街作りを推進するため、その基本方向、具体的な施策について、取りまとめられた」（「感覚環境の街作り」報告書より）

感覚環境のまちづくりの要点

- 感覚に心地良い街の設計を提案する発想が必要な時代となった。
- ポイントは、インフラ整備とはまた別の次元から、住民の意志を反映させ、心地よい感覚環境の街を創造していく方向性が明確になった点。
- 環境主導の街作りが、今後の国造りの流れを作っていく（水・大気環境局 竹本局長）

奈良県の試み

奈良県では、四季折々の自然や歴史や文化の名所、伝統行事の数々を五感で味わってもらおうと、「視る奈良」「聴く奈良」「匂う奈良」「味わう奈良」「触れる奈良」「歩く奈良（五感複合）」「第六感」に分けた108種類もの旅の仕方「五感で楽しむ奈良」を提案している。



私のおすすめ「五感で楽しむ奈良」				選定結果					
見て楽しむ【視覚編】		聴いて楽しむ【聴覚編】		嗅いで楽しむ【嗅覚編】		味わって楽しむ【味覚編】		触れて楽しむ【触覚・体験編】	
候補	所在地	候補	所在地	候補	所在地	候補	所在地	候補	所在地
1	釈迦ヶ岳頂上からの眺め	1	金峯山寺の法眼目の音	1	金峯山寺で護摩を焚いた匂い	1	すずかみの道に残る伝統食「おぼろめし」の匂い	1	織笠を食し、嵐の匂いを感じる「嵐火の祭典」
2	聖林寺からの大和盆地一望	2	金峯山寺朝のお勤めの音	2	製材直後の吉野杉の香り	2	富有柿	2	織掛岩を登る岩の感触
3	三輪素戔の天日千の風景	3	坂木神社の「こめれ橋」で聞く象の小山の流れる音	3	梅林の香り	3	めはり寿司	3	高野豆腐祭の地・野道川村にある高野豆腐伝承館での高野豆腐体験
4	仏隆寺の千年桜	4	国柄奏で演奏される舞の演奏	4	玉置山の幻想的な巨木群の匂い	4	柿の葉ずし	4	和佐文山で入谷山原をしのいで野鳥のハート型オウチング
5	奈良で樹氷が見られる！	5	12時と夜の8時に響く長谷寺法螺貝の音	5	鏡道祭の松明行列に参加して火をもちらう時に感じる、松明の匂い	5	陀羅尼助丸の苦さ	5	万葉文化館で「万葉集を体験する」
6	かかし祭りと彼岸花が咲く欄田	6	長谷寺の読経の声	6	鏡道祭の松明行列に参加して火をもちらう時に感じる、松明の匂い	6	あすかで食べる古代米（赤米、黒米、緑米）	6	信貴山護国寺で買った餅の匂いを感じる幸運の餅を触れる
7	慧光院にある枯山水の庭	7	曾爾高原で風に揺られるササササの音	7	そばの里 笠の新そばの香り	7	お寺でグルメ	7	高山竹林園での39cmの大茶碗で飲む円葉大茶碗体験
8	大和郡山城の桜	8	結崎面線公園で行われる面線さくら祭りに響く笛の音	8	朝護孫子寺の僧侶や行者の護摩の匂い	8	おん祭りでは振まわれるのっぺ	8	全国金魚すくい選手権大会への出場
9	ライトアップした奈良の世界遺産	9	鹿よせのホルンの音	9	お水取りの御松明が燃える匂い	9	ならまちのカフェ	9	赤膚焼体験
10	東大寺二月堂からの夕日	10	春日野の鹿と諸寺の鐘	10	薬師寺の花会式（修二会）での体を包み込むお香のかおり	10	奈良公園周辺の茶店	10	唐招提寺うちわまきで、ハート形のうちわを作る
11	東大寺聖武天皇祭の「お渡り」と「慶讃法要」の様子	11	おんまつり「蓮寺の儀」での神秘的な響き「みさき・神をよぶ声」	11	おんまつりで行われるおんまつり	11	大安寺光仁金がんに封じ置酒まつりで振るまわれる酒	11	おんまつり御講立で、湯気あがる釜から巫女さんがかけてくれる湯で一年健康に。
12	新羅の舞の姿	12	おんまつりで行われる御旅所での舞の姿	12	興福寺南円堂のお香の薫り	12	味酒フェスティバルで提供される真内蔵もとの酒	12	掘り墨体験

「五感で楽しむ奈良」



「視る」仏隆寺千年桜



「聴く」奈良公園鹿よせ



「匂う」東大寺二月堂お水とり



「味わう」朴の葉寿司



「触れる」鐘掛岩を登る



「歩く」大台ヶ原ハイキング



「第六感」精神修養の道「奥駆道」

島根県 中海・宍道湖 五感モニター調査

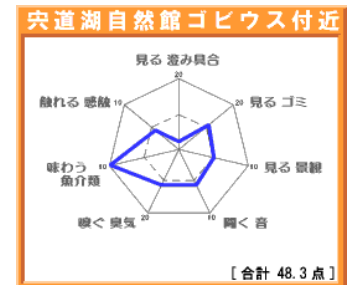
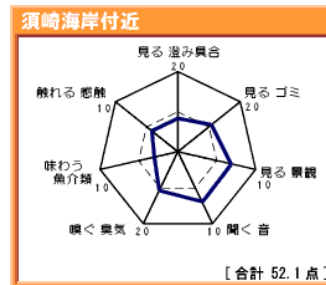
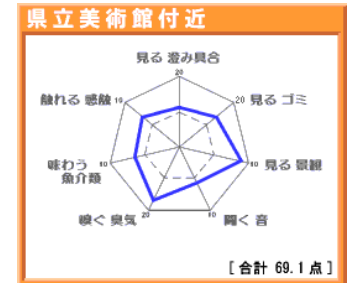
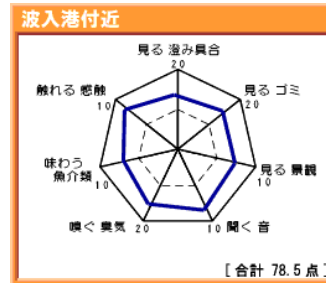
五感	観察項目	選 択 肢	判断対象の例	点 数
見 える	湖 水 の 澄み具合	澄んでいる (20点)	水の透明感、色、アオコ、赤潮など	10.6 点
		少しにごっている (10点)		
		にごっている (0点)		
見 える	ゴ ミ	ほとんどない (20点)	水面や湖岸に見当たらないゴミなど	12.4 点
		少し見当たる (10点)		
		たくさんある (0点)		
景 観	美しい心がなごむ・風情がある	周囲の山並みや建物、朝日・夕日、シジミ漁の風殺風景・見通しが悪い (10点)	周囲の山並みや建物、朝日・夕日、シジミ漁の風景など	7.3 点
		特に感じることはない (5点)		
		特に感じることはない (0点)		
聞 く	音	ここちよく感じる音・静かで落ち着く (10点)	鳥の鳴き声、さざ波の音、近くの寺の鐘の音、船舶の音、車の音、工場の音など	6.0 点
		特に気にならない音 (5点)		
		うるさく感じる音 (0点)		
嗅 ぐ	臭 気	ここちよい香り・臭いはない (20点)	潮の香り、木や草花の香り、排気ガスの臭い、煙の臭い、ヘド臭など	13.2 点
		特に気にならない臭い (10点)		
		くさく感じる (0点)		
味 わう	魚 介 類	食べてみたい (10点)	シジミやアサリなど宍道湖・中海でとれる魚介類	6.5 点
		どちらでもない (5点)		
		食べてみたいと思わない (0点)		
触 れ る	湖 水 の 触 感	触ってみたい (10点)	手や足を湖水につけてみたいかどうか	6.6 点
		触ることに少し抵抗がある (5点)		
		触りたくない (0点)		

■五感による湖沼環境ランク表

合計点数	ランク	評 価 内 容
80点以上	A	おおむね良好で親しみやすい環境にあると感じられる
50点～79点	B	やや気になる面があるが、まずまず良好な環境であると感じられる
49点以下	C	快適さに欠け、親しみにくい環境にあると感じられる

合計
62.7
点

中海と宍道湖 1.1 ポイントの測定



4. 奇跡の宿

客はアートでやってくる

栃木県の根室温泉に「アート」と「経営」を融合させた「奇跡の宿」大黒屋がある。その魅力は、「来る人の73%がリピーターになる」その脅威のリピーター率が、何よりも物語ってくれている。

- ・なぜ、7割以上の客がリピーターになってしまうのか？
- ・なぜ、1週間以上滞在する客が1割もいるのか？
- ・なぜ、海外からも何百名もの客が、毎年わざわざやって来るのか？

その理由は、大黒屋のコンセプト「保養とアートの宿」にある。大黒屋は、400年以上続く老舗の温泉旅館ながら、ここ数十年ほど「現代アート」を経営の根幹に取り入れ、成功を収めている。「粋の中で楽しむ芸術」ではなく「空間で楽しむアート」を旅館に取り込むことで、独特の空気を作り上げている。

